

第109回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 金	当 座 預 金	売 掛 金	買 掛 金
仕 入	売 上	受 取 手 形	支 払 手 形
繰 越 商 品	支 払 保 険 料	前 払 保 険 料	長 期 前 払 保 険 料
建 物	建 設 仮 勘 定	建 物 減 価 償 却 累 計 額	未 収 入 金
未 払 金	仕 入 割 引	売 上 割 引	手 形 売 却 損
損 益	繰 越 利 益 剰 余 金	別 途 積 立 金	未 決 算
火 災 損 失	保 険 差 益		

- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
- 決算において、当期純利益 ¥ 100,000 を計上する。
- 前期末において、向こう3年分の火災保険料(1年分が ¥ 30,000)を繰延処理し、前払保険料勘定に ¥ 30,000、長期前払保険料勘定に ¥ 60,000 を計上していた。当期の決算に当たり、適切な費用の期間帰属のための処理を行う。なお、当期首において再振替仕訳は行っていない。
- 12月20日に商品 ¥ 500,000 を仕入れ、代金は掛けとしていた(なお、この買掛金については、12月30日までに支払えば代金の1%の割引を受けられることができる)が、本日(12月29日)、買掛金 ¥ 200,000につき、仕入割引を計上するとともに、残額は小切手を振り出して支払った。
- 本日(6月15日)、火災により焼失した建物(取得原価 ¥ 1,000,000、残存価額 ¥ 100,000、耐用年数9年、間接法により記帳)について請求していた保険金 ¥ 600,000を支払う旨の連絡を保険会社から受けた。なお、当該建物は、当期首(4月1日)からさかのぼって5年前に取得したものであり、4月1日の火災により焼失した際に、期首時点の簿価の全額を未決算勘定に振り替えていた。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
2	損 益	100,000	繰 越 利 益 剰 余 金	100,000
3	支 払 保 険 料	90,000	前 払 保 険 料	30,000
	前 払 保 険 料	30,000	長 期 前 払 保 険 料	60,000
	長 期 前 払 保 険 料	30,000	支 払 保 険 料	60,000
別解	支 払 保 険 料	30,000	前 払 保 険 料	30,000
	前 払 保 険 料	30,000	長 期 前 払 保 険 料	30,000
4	買 掛 金	200,000	当 座 預 金	198,000
			仕 入 割 引	2,000
5	未 収 入 金	600,000	未 決 算	500,000
			保 険 差 益	100,000